

2019年度(平成31年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

〈学校用〉

校番(20)番 福山市立加茂中学校

1 育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)

育成する21世紀型“スキル&倫理観”	考える・伝える・聴く力	見通す・振り返る力	社会性
めざす子ども像(21世紀型“スキル&倫理観”を身に付けた児童生徒の姿)	多面的・多角的に考えることができる →創造的・建設的に伝えることができる →理解・納得・共感して聴くことができる	自分で計画を立てたり、方法を予想したりすることができる →価値を振り返ることができる	集団生活における目的・目標達成、課題解決に向けて自分の役割を果たし、心からの笑顔を増やすことができる=貢献

2 授業の現状

- 振り返りを書くことができる生徒が 89%
- 振り返りが役に立ったと肯定的に評価する生徒が 86%
- 振り返りの数値が教科によって偏りがある

転換

3 めざす授業の姿

- ①「どうして・なるほど・できた」の場がある授業
- ②学び方を学ぶ授業

4 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組	8月末の状況	9月からの取組	12月末の状況	1月からの取組	2月末の状況
全授業で、めあてに対応するまとめ・振り返りを書くことができる授業展開をし、振り返りが書ける生徒を90%以上にする。 振り返りが役に立ったと肯定的評価をする生徒を90%以上にする。	振り返りが書ける生徒が、82.2%、振り返りが役に立ったと肯定的評価をする生徒が87.5%だった。どちらの数値も昨年度を下回る結果となっている。	校内研修で共有した振り返りの工夫や、各教科で行っている工夫等を、自らの授業に取り入れて実践につなげる。	振り返りが書ける生徒が87.4%、振り返りが役に立ったと肯定的評価をする生徒が85.3%だった。書ける生徒の数値は若干上がったが、役に立ったと感じる生徒の数値が下がった。	振り返りを書くことが目的にならないようにする。 全教科・全職員で振り返りについての意識統一を再度行っていく。	アンケート未実施のため、数値でみとることができなかった。

5 取組の結果等

数値は2019年(H31年)調査等の状況

全国学力・学習状況調査(%)	〈児童生徒質問紙調査〉(%)	(肯定的評価)
国語	71(一3)	自分にはよいところがある 71
算数(数学)	55(一5)	先生はよいところを認めてくれる 72
英語	49(一7)	将来の夢や目標を持っている 68
		人の役に立つ人間になりたい 95

()は県平均との差

「基礎・基本」定着状況調査 〈児童生徒質問紙調査〉(%)	(肯定的評価)
学校へ行くのは楽しい	84.3
「やりなさい」と言われなくても、自分から進んで勉強をしている	50.0
授業では、課題について、「なぜだろう」「やってみよう」と思う	67.1
授業では、友だちと話し合うなどし、考えを深めたり広げたりしている	71.4

暴力行為発生率・不登校児童出現率 (%)	(2)月末現在
暴力行為	0%
不登校	5%

体力づくり改善計画【広島県体力・運動能力調査から】

県平均以上項目数	前回目標値に対する結果	重点課題	改善する取組内容・方法
(男子)1年:1/8 2年:0/8 3年:0/8 (女子)1年:2/8 2年:0/8 3年:0/8	県平均を超える種類を増やすことを目標としていたが、女子は変わらず、男子は減少していた。体力テストの総合評価のDE率は減少した。(昨年度23.6%→今年度21.9%)	2,3年が県平均以上を越えた項目がない。全体的に県平均以上を越えた項目が少ない。	授業での活動量を増やす。課題となる項目の解決に向けたトレーニングを取り入れる。
目標値	・県平均値かつ、全国平均以上の種目を男女ともに増やす。 ・新体力テストの総合評価のDE率を20%以下にする。		

福山100NEN教育アンケート[対象:授業者](%)

質問項目	当てはまる	当てはまらない
仕事にやりがいを感じている	26.7	6.7
仕事に充実感がある	26.7	13.3

児童生徒アンケート(%)

(2)月実施

質問項目	当てはまる	当てはまらない
授業で考えることが面白い	未実施	未実施
自分の考えは、認められている	未実施	未実施